

# 会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第2回定例会（書面会議）
- 2 審議期間 令和3年9月28日～10月29日
- 3 出席者氏名 【公民館運営審議会委員】20名  
座間 良彦 小出 京子 小山 百合子 石川 泰子 北村 和則  
青木 健 市川 一成 実形 昭夫 関口 由美子 鈴木 正  
清水 正夫 秋元 豊 原田 洋子 加山 恒夫 小倉 博史  
岩田 眞爾 鈴木 和幸 山下 紀世美 鶴岡 俊之 石田美穂子
- 4 議題及  
議案第1号 令和3年度公民館文化祭（まつり）の実施及び視察研修の中止について  
結果：承認20名 不承認0名  
議案第2号 これからの地域における公民館の役割について  
結果：承認20名 不承認0名
- 5 議案資料 以下のとおり

## 《議案第1号》

令和3年度公民館文化祭（まつり）の実施及び視察研修の中止について

### 1. 趣 旨

文化祭実行委員会を主体に実施される公民館文化祭（まつり）を実施し、各地域の教育・文化活動の取り組みとその成果にふれ、地域の人と人をつなぎ、地域文化の振興や地域づくりを担う公民館の役割について理解を深める機会とする。

※新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、文化祭（まつり）を実施する館については、展示等を主な内容とするなどソーシャルディスタンスに最大限配慮した形式で実施する。

令和3年度公民館文化祭（まつり）視察研修の中止について

例年、視察研修を実施する際には、市所有のバスにより各公民館を移動しており、ソーシャルディスタンスの配慮が難しい事が考えられるため、新型コロナウイルス蔓延防止の観点から視察研修を中止する。

## 《議案第2号》

これからの地域における公民館の役割について（現在の取り組み状況）

## 住民の学習とコミュニティづくりの拠点としての公民館の役割

R3年度上半期はワクチン接種が進んでいるものの依然・社会活動への大きな影響が続いており、公民館事業も国の二転三転する施策に振り回されており、事業計画どおりに事業推進が進展できない状況にあります。各館では現在許容される条件（本市ガイドライン）の下で、これまで積み上げてきた事業成果を糧としながら、答申で頂いた公民館としての役割を実現するために新たな取組の一步を踏み出しております。

コロナ禍の自粛姿勢が続く中での「今、公民館として出来る」ことに念頭に事業に取り組む。

### ・地域の教育機関として誰もが学び合える場所

◎現況では学ぶ場所（公民館）を知り・裾野を広げる取組み

てくてく木更津わくわく散歩（市公連連携事業委員会）

ステージ1 5月16日 7館実施      ステージ2 11月23日予定 8館実施

※ステージ1で実施延期となった富来田公民館は10月16日に実施予定

◎自主学习スペースの活用（中央公民館のみ）      20席⇒25席へ増席

コロナ禍ソーシャルディスタンスに配慮しつつ、青少年の「まなびの場所」を継続提供

### ・青少年が様々な体験をとおして成長できる場所

◎青少年を見守り育む事業への取組み 青少年事業・サタデースクール事業は後期での実施考慮

里山アドベンチャー（市公連連携事業委員会）10月実施予定を11月13日へ変更

### ・地域の人材育成に貢献すること

◎事業をとおして地域づくり・社会教育活動を支援し市民協働を推進する地域人材の養成

てくてく木更津わくわく散歩 ⇒ 公民館事業をとおしての市民協働

まちづくり協議会 ⇒ 地域課題への取組みの中での人材育成

### ・情報の集約・発信場所

◎公民館情報発信と共有（HP更新・職員研修）を積極的に展開していく。

スマホ教室（全館実施） オンライン・デジタル化社会への一步

情報発信や全地域対象DX化へ向けての講座計画（市公連デジタル広報委員会）

### ・地域の防災を支えていく拠点

◎全中学校区へのまちづくり協議会設立及び地域防災への意識強化を促していく。

二中学区（文京・桜井）は引き続き設立に向けて市民活動支援課と推進を図っていく。

災害時の安心・安全への取組み ⇒ 各館防災マニュアル作成

### ・各団体をつなぐコーディネーターとしての役割

◎「人」と「活動」と「地域」を円滑に結びつける公民館職員としての資質の向上を計る。

公民館連絡会主催による職員研修の実施、県・君公連主催の研修への積極的参加。

公民館専任職員の配置に頼らない職員育成に配慮をしていく。

### ・人と人のつながりを強くする役割

◎コロナ禍で分断された「つながり」や拡大する「孤立」に向けての新たな取組み

オンライン機器・Zoomなどを利用した非接触型の「つながり」を構築への試み

大型モニターシステムの導入（12月予定）

パンデミック終息後のフェイス to フェイスへの事業構想の準備

目標8質の目標4高い教育の提供 目標11住み続けられるまちづくり

### ・公民館の適正配置 ⇒ 事業面での新たな取組

◎15公民館を暫定的に4ブロックに分け「ゆるやかな連携」を実施。

常勤館長をリーダーに地区館での人事面・事業面での連携を模索していく。